

平成29年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者13名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 閑上地区への定住促進に向けた取り組みについて	6番 荒川 洋平 (1)閑上地区に新築または購入する世帯への住宅補助金制度を創設したところだが、周知や支援の体制を伺う。 (2)市有地の分譲の状況と今後の予定を伺う。 (3)生活利便施設はどのようなものができて、どのようなまちになるのか、被災者だけでなく市内外へ広く、今から情報発信すべき。	市 長 市 長 市 長	
	2 閑上東地区について	(1)災害危険区域となった閑上東地区に区画整理の後、産業用地ができる予定だが、企業誘致へ向けた取り組みを始めるべき。 (2)区画整理事業により災害危険区域へ土地を換地される地権者がいるが、宅地でありながら住宅を建てることはできない。市としての土地利用についての考えを伺う。 (3)希望する地権者には、借地してもらえる状況を整えるべき。	市 長 市 長	
	3 支え合える社会の実現について	(1)骨髄移植の臓器提供者（ドナー）に対する休業補償の助成制度を創設すべき。	市 長	
2	1 ICTやモバイル端末の普及拡大を受けた施策について	5番 吉田 良 (1)市が実施している相談事業の中から、直接の面談が難しい層を対象とするものを選び出し、ソーシャルネットワークサービス（SNS）上に相談窓口を開設すべき。 (2)既存のSNSやインターネットサービス等を利用し、地域のイベント情報や魅力の発信と、国内外からの誘客を図るべき。 (3)さまざまな自治体において、道路などの異常を写真と位置情報で通報する「パトレポアプリ」を初め、「健康づくりアプリ」、「母子手帳アプリ」、「見守りアプリ」、「ごみの分別アプリ」、「カレンダーアプリ」など、携帯端末用のアプリケーションを独自に開発したり、既存のアプリケーションを導入する取り組みが進められている。本市でも検討すべき。 (4)市政情報課を情報政策課などに改称し、システムエンジニアの増強など体制を強化するとともに、利便性の高いアプリケーションの開発、オープンデータの適切な運用、将来的な庁内ネットワーク刷新の検討を進め、ICTの利点を積極的に活用すべき。	市 長 市 長 市 長	
	2 市民協働の進展について	(1)名取市第五次長期総合計画では、平成27年度の「町内会・自治会への加入率」の目標が85パーセントと設定されている。目標達成の成否と、現状に対する見解を伺う。	市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		<p>(2) 区長制度の見直しは、震災復興業務が落ちついた時点において再度検討するとのことであった。新しい制度に移行するまでのスケジュールを示すべき。</p> <p>(3) 地域づくりのための人材を発掘・育成するとともに、区長制度の見直しによって地域と行政の連携が崩れぬよう、人材を活用できる新しい自治組織のあり方を早期に示すべき。</p> <p>(4) 現在の公民館事務長のかわりに若手職員を地域担当として公民館に配置し、中長期的スパンで地域と向き合いながら、住民とともに地域課題を解決する経験の機会を持たせるべき。</p>	市 長 市 長 市 長	
3	<p>1 食品ロス削減に向けた取り組みについて</p> <p>2 生ごみ堆肥化容器購入費補助制度について</p> <p>3 リサイクルの推進について</p>	<p style="text-align: center;">20番 菊地 忍</p> <p>(1) 長野県松本市から始まった「30・10運動」を本市でも推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 家庭でできる取り組みを広く周知すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 保育所等で環境教育を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) ホームページを見ても制度の詳細がわからない。市民への周知を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 上限額の増額や購入先が限られている点など、制度を見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 平成24年12月定例会にて小型家電のリサイクルについて提言したが実施されていない。回収業務に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 剪定枝粉碎処理車を導入し資源化に取り組むべきと考えるがどうか。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
4	<p>1 選挙公約の「聞く耳と対話のある市政」と市民参画について</p> <p>2 芝生化事業について</p> <p>3 生物多様性の取り組みについて</p>	<p style="text-align: center;">2番 大久保主計</p> <p>(1) 選挙公約「聞く耳と対話のある市政」のこれまでの取り組みと、市政への影響、成果をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 市民や当事者の政策形成過程への参画を推進し、市民協働によるまちづくりの強化を図るべき。</p> <p>(3) 次の長期総合計画の策定を意識し、市長公約もほかの政策と同様、PDCAサイクルで進行管理を行うよう考え直すべき。</p> <p>(1) 子供の心身の健康増進と体力向上のために、児童福祉関連施設の芝生化事業について取り組むべき。</p> <p>(1) 生物多様性の観点から、増田川の自然環境の保全を積極的に進めながら、地域の魅力として内外に発信するために、名取トレイルセンター（仮称）と連携させた、増田川沿いのトレイル環境の整備を市民協働で取り組むべき。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
5	<p>1 スポーツ振興施策について</p> <p>2 都市計画道路大手町下増田線全面開通による沿線等への影響について</p>	<p style="text-align: right;">9番 佐々木哲男</p> <p>(1) 震災後のスポーツ人口の推移と、施設面での充足度について伺う。 (2) 生涯スポーツ社会の実現に向けての「総合型地域スポーツクラブ」の創設を文部科学省が奨励している。本市もスポーツクラブの充実に取り組むべき。 (3) (仮) 閑上運動グラウンド等の有効活用を図るべく、広く市民や関係団体等の意見・要望等を取り入れ、スポーツ施設のさらなる充実を図るべき。</p> <p>(1) 中心部の渋滞解消が期待された都市計画道路大手町下増田線の開通から8カ月が経過したが、その成果をどのように評価しているのか伺う。 (2) 慢性的な渋滞が緩和されるとして、開通と同時に東北本線飯野坂踏切が閉鎖されたが、沿線及び沿線住民への新たな影響について、市として独自の住民意識調査や検証を行うべき。 (3) 飯野坂踏切閉鎖により、岡田踏切、下増田踏切等での南下車両の右折による滞留等のため踏切関連事故が危惧される。地元より踏切改善の強い要望もあることから、JRや県等関係機関に安全策等について積極的に働きかけるべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	
6	<p>1 国民健康保険の都道府県単位化に伴う影響について</p> <p>2 性的マイノリティー（LGBT）の人たちの権利保障について</p>	<p style="text-align: right;">16番 小野寺美穂</p> <p>(1) 国民健康保険の都道府県単位化の方針に対して、本市としてどのような意見を上げたのか。 (2) 県納付金の試算決定内容はどのように決められ、どのように合意したのか。その結果、新年度の保険税にどのように反映されるのか。 (3) 将来的に保険税水準の統一を目指すとされているが、医療費水準がゼロとなった場合、その時点での影響をどのように捉えているのか。 (4) 統一された後、例えば突発的に新型インフルエンザなどが流行した場合、医療費の増分はどこが負担することになるのか。 (5) 基金の積み立て方、活用方法を再考し、引き下げに努めるべき。</p> <p>(1) 日本のLGBTの割合は7.6パーセントというデータが発表されているが、市や教育委員会としてまず現状を把握し、権利保障を進めるべきと考えるがどうか。 (2) 教育現場、市役所内、市内事業所、企業など広く理解を深め、制度化も視野に入れるべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
7	1 交通安全対策について 2 消防力の向上について	<p style="text-align: right;">14番 長南 良彦</p> <p>(1)秋の交通安全運動に伴い、これまで実施した危険箇所共同点検の件数と実施後の仕分けをどのように行っているのか伺う。 (2)関係機関が実施する共同点検は対策方法の判断が早いなど意義が大きい。関係機関へのフォロー強化と関係団体とのさらなる協力連携により要望実現に努めるべき。 (3)共同点検実施後の方針や結論は要望者や共同点検参加団体に適時フィードバックし、連携強化を図るべき。 (4)県内の人身事故多発交差点の上位にランクされた市内の交差点について、警察と連携し事故撲滅に努めるべき。</p> <p>(1)119番通報から現場到着までの平均時間及び短縮の取り組みと課題を伺う。 (2)手倉田出張所管内の救急出場件数及び比率が増加している。原因と対応をどのように捉えているのか。 (3)市民の安全安心と出張所来訪者への対応の向上及び職場環境改善をどのように捉えているのか。 (4)老朽化した手倉田出張所の移転改築について、これまでの検討結果を踏まえ早期に実現し、救急車配備体制を確立すべき。</p>	市長 市長 市長 市長 消防長 消防長 消防長 市長 消防長	
8	1 名取駅前等の公共施設の環境整備について 2 被災者支援、生活再建について	<p style="text-align: right;">12番 大沼 宗彦</p> <p>(1)名取駅西口の駅ロータリー部分で、生協側歩道と駅を結ぶ横断歩道を設置すべき。 (2)健康増進法（平成14年法律103号）第25条の全面実施により、受動喫煙を防止するため公共施設へのハウス型喫煙所の設置について、スペース確保と設備・維持費の検討はどのように進めてきたのか。</p> <p>(1)高齢者のいる世帯で、希望者に緊急通報システムの設置を働きかけるべき。 (2)復興公営住宅周辺に郵便ポストや自動販売機を設置すべき。 (3)自治会等の組織について、立ち上げから活動が軌道に乗るまで行政がリーダーシップを発揮しサポートすべき。 (4)被災地の新しい住宅団地に「お茶っこルーム」のスペースと、日常的支援で孤立化を防ぐ事業を継続的に進めるべき。 (5)被災者の医療費の減免制度を継続すべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
9	<p>1 名取市史編さん事業の取り組みについて</p> <p>2 志教育支援事業について</p>	<p style="text-align: center;">17番 丹野 政喜</p> <p>(1)名取市史は昭和52年に刊行されてから、既に40年以上が経過しているが増補されていない。名取市史の編さん事業の必要性をどのように捉えているのか。 (2)名取市史の編さんは、まちづくりの根幹をなすものである。本格的な名取市史の編さん事業に着手すべきと考えるがどうか。 (3)名取市史の編さんには、継続した資料の収集や調査が欠かせない。市制施行60周年を契機として編さん体制を整備すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)志教育支援事業の取り組みの成果と課題をどのように捉えているのか。 (2)志教育支援事業の成果を今後どのようにして地域に根づかせ、市内全域に広げていこうとしているのか。 (3)志教育で育んだ成果をさらに生かしていくために志教育の児童生徒サミットを深め、子ども議会に発展させるべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
10	<p>1 台風21号における閑上新町頭地区への対応について</p> <p>2 市民との協働によるまちづくりについて</p> <p>3 市制施行60周年記念事業について</p>	<p style="text-align: center;">4番 菅原 和子</p> <p>(1)冠水被害に見舞われた原因をどのように認識しているのか伺う。 (2)被害状況の掌握がおくれ、避難所開設がおくれたのではないかと。 (3)市民の通報に対し、対応に不備があったと考えられる。対応について見直すべき。</p> <p>(1)仙台市で導入している「道路不具合通報システム」について、本市でも導入に向けて取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)オリジナル婚姻届や記念撮影用ボードを作成すべきと考えるがどうか。 (2)11月22日の「いい夫婦の日」に合わせ、届け出挙式を開催してはどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 消防長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
11	<p>1 選挙事務と投票環境の改善、投票率の向上について</p>	<p style="text-align: center;">3番 齋 浩美</p> <p>(1)選挙ポスター掲示板の設置場所を見直すべき。 (2)投票区の区割りを見直すべき。 (3)高齢者や障がい者等への移動支援を行うべき。 (4)投票率のさらなる向上を図るため、複数の期日前投票所の設置や、移動投票所を設けるべき。 (5)将来の投票率を向上させるために、中学生への選挙教育の充実を図るべき。</p>	<p>選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 教育長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 学校教育について	(1)各学校の楽器などの劣化や修繕、数の不足などについてどこまで把握しているのか。 (2)楽器などの管理を容易にするため、ストックマネジメントを導入すべき。 (3)市民や企業から学校用楽器の寄附を募り、再生・再利用する事業に取り組むべき。 (4)学校教育・文化活動を充実させるため、関係する予算を増額すべき。	教育長 教育長 教育長 市 長	
1 2	1 災害に強いまちづくりについて	1 番 大泉 徳子 (1)災害時に円滑かつ迅速な避難行動を確保するため、町内会等との避難行動要支援者支援制度に係る協定の締結を加速化すべき。 (2)名取市総合防災訓練や各地区での避難訓練等では、要支援者の避難や公民館等への避難を取り入れるなど、より実践的な訓練に高めていくべき。	市 長 市 長	
1 3	1 キャリア教育について 2 奨学金制度について 3 職員への奨励について	7 番 大友 康信 (1)8月に第二中学校で開催された仕事博覧会についてどのように捉え、どのような評価をしているのか伺う。 (2)それぞれの学校の取り組みについて、市内の全小中学校の職員やPTAや父兄に対してどのように周知され、情報の共有はなされているのか。 (3)仕事博覧会を市内の全小中学生を対象に開催すべき。 (1)市内の働き手を育て職住近接を推進するため、本市職住を目指す学生に対する奨学金制度を創設すべき。 (2)全ての奨学金の利用者に対し、本市職住の期間は返済金を補助する制度を創設すべき。 (1)職員の社会貢献活動への協力に対する人事評価の項目を新たに設けて、地域共助の推進と活性化のため、さらなる社会貢献活動への職員の参加と協力を奨励すべき。 (2)職員の社会貢献等の功労に対する認定基準を設けて顕彰すべき。 (3)市外在住の職員に対し、市内への転入を奨励すべき。	市 長 教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	